



一般社団法人 電波産業会

Association of Radio
Industries and Businesses

No.1041 2016年9月12日

ARIBからのお知らせ

平成28年度「受信環境クリーン月間」の実施について

今日、テレビ放送やラジオ放送は、誰もが様々な情報を手軽に得るために、また、生活に潤いをもたらすものとして、日常生活に必要不可欠なメディアとなっています。しかし、一方で、テレビ放送受信用ブースター、パソコンなど電気・電子機器からの雑音、無線局からの混信、建造物による放送電波のしゃへい・反射などを原因とする放送の受信障害が発生しています。

受信環境クリーン中央協議会(会長：一般財団法人情報通信振興会理事長)は、こうした受信障害の防止を図ることを目的として、昭和29(1954)年、関係省庁、関係業界団体などの協力によって設立された任意団体で、現在、地方ブロックを単位とする地方協議会及び地方協議会の内部組織として府県などを単位とする府県連絡会から構成されています。

受信環境クリーン中央協議会では、例年10月1日から10月31日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、各地方協議会及び地方協議会の内部組織である府県連絡会と協力して、全国各地で放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。

本月間中は、建造物障害対策、テレビ放送受信用ブースター障害対策、電気雑音障害対策、無線局障害対策を柱に、関係団体などの協力を得て、セミナー・講習会の開催、相談所の設置、調査・パトロールを実施するとともに、NHK、民放各社の協力のもとに広報番組を放送するほか、業界紙などへの記事掲載、ポスターの掲示、リーフレットの配布など幅広い周知・広報活動を行っています。

また、本活動の一環として、総務省・文部科学省・NHK・(一社)日本民間放送連盟の後援のもとに、全国の中学生を対象に「受信環境クリーン図案コンクール」を実施し、未来を担う青少年の啓発にも取り組んでいるところです。

放送電波の受信障害は、時代とともに多様化・複雑化してきています。また、電気機器などの不適切な取扱い、例えばテレビ放送受信用ブースターの感度(利得調整)の上げすぎや配線不良などが原因で広い地域に受信障害を発生させることもあります。

したがって、その防止・解消には、多くの方々の日頃からの注意・取組が不可欠です。
「受信環境クリーン月間」を機に、電波障害の防止になお一層の御理解と御協力をお願いします。

(連絡先) 受信環境クリーン中央協議会事務局
03-3940-3981
(一般財団法人情報通信振興会内)

ARIBの動き

日中韓情報通信標準化会議 第47回 IMT WG 会合の概要

日中韓情報通信標準化会議 (CJK) 第47回 IMT WG 会合が開催されました。

- 1 日 程： 2016年8月26日(金)
- 2 場 所： 中国 上海市浦東新区
- 3 出席者：
各標準化機関のメンバーとして、ARIBから6名、CCSA(中国)から9名、TTA(韓国)から6名が参加しました。
- 4 会合の目的：
CJK IMT WG 会合は、日中韓3ヶ国の標準化機関のITU-R、APT及び3GPPs等におけるIMTの国際標準化に対する取り組み等に関する情報・意見交換を行うことを目的としています。
なお、今会合は、本年10月に開催される第25回ITU-R SG5 Working Party 5D (WP 5D) 会合への準備に特化した議事内容でした。
- 5 主要結果：
 - ・ 第25回WP 5D 会合に向けた各国の準備状況について情報共有を行うとともにSIG-Spectrum、SIG-Requirements及びSIG-Evaluationの3つのSpecial Interest Groupについて、それぞれの活動状況を確認、各SDOの提案内容の共通部分を基に共同寄与文書化について検討を行いました。
 - ・ この結果、6件の寄与文書について共同寄与文書の調整を進めることになりました。
 - ・ 今後のIMT WG 会合の運営について協議し、年3回開催される会合のホストSDOのローテーションについて合意しました。また、WP5D 会合に向けた議論が十分かつ効果的に行えるよう、会合のアジェンダを見直しました。
- 6 次回会合のスケジュール：
次回は、2017年1月17日～18日に韓国(場所未定)で開催される予定です。

SET EXPO 2016 において ARIB/DiBEG が SET AWARD 等を受賞

8月29日から9月1日にかけて、ブラジル・サンパウロにおいて、テレビ放送技術に関する展示会及び講演会等から構成されるSET EXPO 2016が開催されました。本イベントは、ブラ

ジルテレビ技術協会（SET）の主催により毎年行われているもので、中南米地域では最大規模の放送技術に関する展示会です。また、今年には2006年にブラジルが地上デジタル放送に日本方式（ISDB-T）を採用して10年目に当たるため、ISDB-Tを採用している中南米諸国の閣僚級を招聘した地デジ協力10周年式典も本イベントに合わせて開催されました。

SET EXPOの開会式及び地デジ協力10周年式典では総務省のあかま二郎副大臣が日本を代表してスピーチを行うとともに、ISDB-T採用国の代表との間で放送分野における日本と中南米諸国との協力関係をICT分野全般に拡大することで一致しました。

また、開会式では、SET及びブラジルの地上デジタル放送に関する標準化団体であるSBTVDフォーラムより、ISDB-Tの国際普及に貢献したとして、ARIBのデジタル放送普及活動作業班（DiBEG）がSET AWARD及びSBTVDフォーラム AWARDを受賞しました。

このほか、展示会では、総務省が主催し国内の放送及びICT関連の企業・団体がそれぞれ展示を行う日本パビリオンも設置され、ARIB/DiBEGもこれに参加し、ISDB-Tの国際普及活動等に関するパネル展示や緊急警報放送（EWBS）のデモンストレーション等を実施しました。



地デジ協力10周年式典でスピーチを行うあかま二郎総務副大臣



SET AWARD（左）及びSBTVDフォーラム AWARD（右）の受賞の様



日本パビリオンの外観

ISDB-T インターナショナルフォーラム技術調和会合の概要

8月29日、地上デジタル放送にISDB-Tを採用した各国が技術的な意見交換を行う場であるISDB-T インターナショナルフォーラム技術調和会合が、SET EXPO 2016 に併せて開催されました。会合には、日本（総務省、ペルー派遣のJICA 専門家及び当会）、ブラジル、コスタリカ、ホンジュラス、エクアドル、チリ、ボリビア、パラグアイ、グアテマラ、ベネズエラの10か国が参加しました。



ISDB-T インターナショナルフォーラム技術調和会合の様相

会合では、中南米各国におけるアナログ放送終了に向けた取組状況等について情報交換が行われるとともに、日本からアナログ放送終了時の我が国における周知啓発等の取組や、4K/8K 放送に関する今後のロードマップ等に関する説明を行いました。

また、技術調和会合では、これまでハードウェア、ミドルウェア、EWBS の3つの分野で各国の標準規格の差分を取りまとめた技術調和文書を作成してきていますが、今回の会合では

ARIB/DiBEG より、今後の検討に向けて、EWBS に関するこれまでの議論の経緯及び論点、今後の受信機普及に向けた課題解決に関するアイデア等についてプレゼンテーションを行いました。

このほか、各国における送信機・受信機の機器認証に関するプロセスが異なるという問題が新たに提起され、これに対応するためメールベースのバーチャルチームを設置して各国間の情報共有を図ることが承認されました。

ARIB/DiBEG~SBTVD フォーラム意見交換会 第 2 回会合を開催

ARIB/DiBEG と SBTVD フォーラムは、これまで中南米諸国における ISDB-T の普及活動において様々な連携を行ってきており、これをさらに強化するため今年 4 月から半年毎を目途に定期的な意見交換会を開催しています。今般、SET EXPO 2016 の機会を捉え、9 月 1 日に第 2 回の意見交換会を開催しました。この際、新たな試みとして Web 会議システムを活用することとし、ARIB/DiBEG 側は SET EXPO に参加した本間研究開発本部次長ら 3 名が EXPO 会場の一室で SBTVD フォーラム関係者と対面で会議に臨むとともに、日本からも菅原 DiBEG 議長ら 3 名が Web 経由で参加しました。



ARIB/DiBEG~SBTVD フォーラム意見交換会の模様

会合では、まず両組織における最新状況に関する情報交換が行われ、日本側より 8 月 1 日に開始された 4K/8K 試験放送及びこれに関する ARIB STD 等の検討状況について説明しました。これに対してブラジル側より、同国においても数年以内に次世代放送に関する政策決定を行う必要があるため今後も日本と緊密な情報交換を行いたいとの提案があり、双方でコンタクトパーソンを交換し継続して情報交換を図ることが合意されました。

また、第 1 回会合から議論が継続されていた、両組織によって以前に作成された日本及びブラジルの ISDB-T 規格の差分を取りまとめた共同文書の更新作業について、具体的な手順が合意されました。

さらに、中南米諸国における EWBS 受信機の普及方策についても意見交換が行われ、日本側より、両組織に所属するメーカーに対して EWBS 受信機普及に関する課題についてアン

ケート調査を行うことを提案したところ、ブラジル側より、日本側の具体的な提案があれば会員に対して照会したいとの回答がありました。

このほか、次回会合は来年 4 月に米国で開催される放送機器展の機会を捉えて行うことが合意されました。このほか、次回会合は来年 4 月に米国で開催される放送機器展の機会を捉えて行うことが合意されました。

今週の ARIB 内会合 (9 月 12 日～9 月 16 日)

9 月 13 日 (火) : スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班

9 月 13 日 (火) : 素材伝送部会 SNG 検討作業班

9 月 14 日 (水) : 第 231 回業務委員会

今週の国際会合 (9 月 12 日～9 月 16 日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

第 5 世代移動通信システムに関するワークショップ開催のお知らせ

CEATEC JAPAN 2016 (開催期間 : 平成 28 年 10 月 4 日 (火) ～7 日 (金)) において、第 5 世代移動通信システム (5G) ワークショップ 2016 が、次のとおり開催されます。

1 ワークショップ名 : セッション番号 SP-9

第 5 世代移動通信システム (5G) ワークショップ 2016

(The Workshop on the Fifth Generation Mobile Communications Systems (5G) - 2016)

2 ワークショップ概要

2020 年以降の実現に向けて検討が進められている第 5 世代移動通信システム (5G) に関する第 3 回ワークショップを開催します。今回は、国内外の専門家の方々から、5G の実現に向けた実証試験等に関する取組をご講演いただくとともに、5G の活用が想定される産業界や東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から 5G への利活用に関する期待やご要望についてのご講演をいただく予定です。

また、パネルディスカッションでは、ご講演者の皆様の間で 2020 年以降の 5G の世界における新たなモバイルサービス等について、熱い意見交換が行われる予定であり、ご期待ください。

- 3 **主催** 総務省
共催 第5世代モバイル推進フォーラム (5GMF)

- 4 **開催日時**
平成28年10月5日(水) 14:00-17:15 13:45 入場開始予定

- 5 **開催場所**
幕張メッセ 国際会議場2階 「コンベンションホールB」
〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

- 6 **定員** 約500名(シアター形式)

- 7 **聴講料** 無料

- 8 **参加申込方法**
次のCEATECサイトから、参加申込みをお願いします。
事前登録及びセッション参加登録が必要となります。
<http://eventregist.com/e/ceatec2016>
早期に定員オーバーとなる可能性がありますので、参加を希望する場合は早めの参加申込みをお願いします。

- 9 **ワークショップに関するホームページでの案内**
ARIB ホームページ内に、本ワークショップに関する最新プログラム等を今後掲載しますので、ぜひご覧ください。
[第5世代移動通信システム\(5G\)ワークショップ2016](#)

- 10 **暫定プログラム**
本ワークショップの暫定プログラムは次ページのとおりとなります。出演者につき、一部調整中です。英日同時通訳が行われます。

- 11 **問合せ先**
本ワークショップ記事に関する問い合わせ先は、次のとおりです。
ARIB 研究開発本部 移动通信グループ
近田守也 TEL: 03-5510-8594 E-mail: workshop-5g@arib.or.jp

第5世代移動通信システムに関するワークショップ暫定プログラム

内 容	講演テーマ/講演者	
開会挨拶	総務省(調整中)	
基調講演	吉田 進(5GMF 会長/京都大学 特任教授・名誉教授)	
講演	セッション1:「5G実現にむけた国内外の取組」	
	講演①	「5G 実現に向けた実証試験」(仮) 奥村 幸彦氏(5GMF 総合実証試験推進グループリーダー/NTTドコモ)
	講演②	「中国における 5G 実現に向けた取組」(仮) Dr. Wen Tong (Huawei Technologies)
	講演③	「5G 実現に向けた取組」(仮) 海外講演者(調整中)
講演	セッション2:「5Gと利活用産業との連携」	
	講演④	「新たなモバイルサービスの展望」(仮) 岩浪 剛太氏(5GMF アプリケーション委員長/インフォシティ)
	講演⑤	「ITSにおける活用」(仮) 菅沼 英明氏(トヨタ自動車)
	講演⑥	「セキュリティ分野における活用」(仮) 桑原 英治氏(総合警備保障)
	講演⑦	「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた期待」 井上 淳也氏(東京オリ・パラ組織委員会)
パネル ディスカッション	モデレータ	中村 武宏氏(5GMF 企画委員長代理/NTTドコモ)
	パネリスト	奥村 幸彦氏(5GMF 総合実証試験推進グループリーダー/NTTドコモ)
		Dr. Wen Tong (Huawei Technologies)
		海外講演者(調整中)
		岩浪 剛太氏(5GMF アプリケーション委員長/インフォシティ)
		菅沼 英明氏(トヨタ自動車)
		桑原 英治氏(総合警備保障)
井上 淳也氏(東京オリ・パラ組織委員会)		

「周波数再編アクションプラン」の見直しに係る意見募集

【平成 28 年 9 月 2 日発表】

総務省は、平成 27 年度電波の利用状況調査(3.4GHz を超える周波数帯を対象)の評価結果(平成 28 年 6 月)等に基づく具体的な周波数の再編を円滑かつ着実に実施するため、「周波数再編アクションプラン(平成 27 年 10 月改定版)」を見直し、別紙 1 のとおり「周波数再編アクションプラン(平成 28 年度改定版)(案)」を作成しました。

同案について、平成 28 年 9 月 3 日(土)から同年 10 月 3 日(月)までの間、意見を募集しています。

詳細については [【平成 28 年 9 月 2 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp